



64

開業助産師

◆この仕事につくには◆

助産師は女性限定の国家資格です。厚生労働省(国の役所)の試験に合格するとなれます。ただし、試験を受けるために、看護師の資格を持ち、指定の学校で最低6か月以上学ぶことが必要です。約10例のお産を手助けする実習などを通し、お産に関する知識を深めます。多くの助産師は、病院の産科や産院などに勤めています。その後、自立して開業する人もいます。



矢島さんはこれまでに三千六百人以上のお産を手助けしました。矢島さんも二男一女の母親です。上の二人は病院で、末っ子を自宅でお産しました。「助産師として、病院の分べん台で産む方法を見てきまし

助産師、矢島床子さん(64)に聞きました。
【池乗有衣】

お産の母親と赤ちゃんは1週間ほど入院して、様子を見守ります



二つあります。お産をする女性が好きな音楽を流し、布団の上で横向きや立ちひざなど無理のない姿勢になってもらいます。新しい命の誕生を夫だけでなく、兄や姉となる子どもも見守ることができます。お産の間、女性の体に常に触れて

すぐに胸で抱きしめることができず、女性の心と体を傷つせず、産んだという実感を持てるお産です。「しんどかったけど、いとしい子を産んだ自信は、子育てを支えます」と矢島さんは言います。お産後に母と子が泊まる部屋も三

命の誕生を手助け

た。自然なお産の幸せを知り、開業助産師になりたいと思いました」と、振り返ります。助産院には、お産のための部屋が

安心感を与え、痛みでわめく状態などすべてを受け入れます。最終的には女性自身が赤ちゃんを取り上げ、

つあります。母と子が同じ部屋で一緒に休む中で、母乳で育てられるようにサポートします。また日ごろの

◆お話を聞いた人◆

母と矢島さん

945年、岐阜県生まれ。

産師が女性だけの理由は？
産師は母親のような存在。とおっぱいなど体の問題に気が持ちは十分に表せず、マッて働くかもしれません。産る場では女性に強みがあり

小学生にアドバイスをするのは元気に育つこと。命をってほしいです。両親に生るの事を聞きましょう。な思いで親が育ててくれた分に理解したら、自分だ他の人も思いやること。また公園で赤ちゃんをから、そっと頭をなでたかけたりして、接してみ

からず、助産師は治療はできません。そこで、産婦人科専門病院に協

生まれたばかりの赤ちゃんの状態をチェックする矢島さん

眠不足でヘトヘトになりがちです。疲れて玄関で寝てしまうことも。体力と精神力が必要ですよ」と話します。昨年、お産した二百三十人のうち、十五人の母親を病院に運びました。お産はいつも異常が起きるから

「女性と子どもが中心のお指します。助産師がお産や子現場に楽しんで取り組むこと親も楽しむことができます」

今産科の医師や病院が少り、妊婦が困る状況が起きます。助産師を目指す学生たちをとし受け入れ、育てることについてしています。

